



写真提供：株式会社日本フードエコロジーセンター

廃棄された食品のほぼ半分は家庭から…

食品ロスとは、本来食べられるのに捨てられてしまう食べ物のことです。日本では年間約2,550万トン(※)の食品廃棄物等が出されていますが、そのうちまだ食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は約612万トン(※)。これは、国民一人一人が毎日お茶碗一杯分のご飯を捨てている量に相当します。「もったいない」と思いませんか？

そして食品ロスのほぼ半分は家庭から発生したと推測されています。食品ロスを減らすためには一人ひとりが意識して食品ロス削減をめざすことが大切です。

※農林水産省・環境省「我が国の食品廃棄物等及び食品ロスの発生量の推計値(平成29年度)」

家庭から出る食品ロスの例



賞味期限切れや破損・汚損品

調理の途中で出るくず

食べ残し

減らそう、食品ロス。

食品ロスが多いと何がいけないの？

特に問題になるのはこの2つです！

No! 食料が足りていないのに捨てている
飢餓や栄養不足に苦しむ発展途上国がある一方、日本を含む先進国ではその多くを廃棄処分しています。



No! 地球環境に悪影響を及ぼす
食品を食べることなく捨ててしまうと、それまでに使ったエネルギー(製造や運搬のエネルギー)が無駄になります。また、捨てられた食品を焼却することで発生する二酸化炭素などが多く発生し、地球温暖化を進める要因とされています。

食品ロスを減らす5か条

実践してみよう！

- 第1条 家の在庫を確認して、必要な分だけ買うべし！
- 第2条 食べられるところは全て使うべし！
- 第3条 冷凍など傷みにくい方法で保存すべし！
- 第4条 外食では食べきれる量を注文すべし！
- 第5条 賞味期限と消費期限の違いを理解し、最後まで食べきるべし！

「賞味期限」…品質が変わらず美味しく食べられる期限のこと。
「消費期限」…安全に食べられる期限のこと。
※どちらも未開封で、表示されている保存方法に従ったときの期限です。

どうしても食品が余りそうなら

活用しよう！

フードバンク

どうしてもご家庭で消費できない食品は、食べられるうちにフードバンクへ寄付しましょう。

※フードバンクとは…食べられるにもかかわらず廃棄されてしまう食品などを引き取り、必要としている方々へ無償で提供する団体、活動。

詳しくは で

☎03-5497-0272



問環境政策課環境係 ☎03-3430-1111 (内2566)

広告欄

45×79mm

45×79mm

広告募集中！

ここに広告を掲載しませんか？

こまeco通信は狛江市内全戸配布しています。
広告サイズ (縦)4.5cm×(横)7.9cm
広告掲載料 25,000円/1枠
募集枠 各回2枠
 お申込み・ご相談は環境政策課環境係まで
 ☎03-3430-1111 (内2566)